

事務局責任者協会 協会だより

2022.12

Vol. 31

発行 千葉県中小企業団体
事務局責任者協会
千葉市中央区富士見2丁目
22番2号
千葉中央駅前ビル3階
千葉県中小企業団体中央会
経営支援部内
TEL 043-306-3282
FAX 043-227-0566

組合事務局強化事業

令和4年7月12日(火)に三井ガー
デンホテル千葉「白鳳」において、千
葉県中小企業団体中央会と共催による
「組合事務局強化事業」が開催されま
した。新型コロナウイルス感染防止の
観点から、消毒液の設置、フィジカル・
ディスタンスを保つ座席配置、会場と
オンライン配信を併用したハイブリッ
ド方式の採用など、十分な感染症対策
を施しての開催となりました。



渡辺会長 主催者挨拶時

冒頭、本協会の渡辺会長と千葉県中
小企業団体中央会の斉藤事務局長より
主催者挨拶の後、開催されました。

当日は、2部構成で実施され、

- ①「中小企業が知っておきたい社会保
険・労働関連法令の改正について」を
テーマに社会保険労務士法人エフピオ
代表社員 石川宗一郎 氏にご講演
いただき、②「雇用を守るための在
籍型出向制度について」千葉労働局
職業安定部 職業安定課 就職支援
コーディネーター/特定社会保険労
務士 尾形雄二 氏より情報提供が
行われました。

初めに、社会保険労務士の石川宗一
郎氏より、社会保険適用拡大、育児
休業関係の法改正、労働施策総合推
進法、その他(働き方改革関連のスケ
ジュール)の内容で講演されました。
社会保険適用拡大について、現在の
加入対象者や今回の法改正で大きく
関連する短時間労働者の定義について
説明された後、社会保険の適用範囲
拡大について負担金額(イメージ)や
前回の適用範囲拡大時の調査結果等
の説明をするともに、社会保険加
入メリットも併せて紹介されました。

社会保険加入メリットは？

・将来年金額の増額

※ 月収9.8万円(年収106万円)の場合

	厚生年金保険料	健康保険料	増える報酬比例部分の年金額(目安)	医療保険給付
20年間加入	月額8,100円	月額4,400円	月額 9,000円/年額108,600円 × 終身	医療費給付
10年間加入	月額8,100円	月額4,400円	月額 4,600円/年額54,700円 × 終身	傷病手当金
1年間加入	月額8,100円	月額4,400円	月額 500円/年額5,400円 × 終身	出産手当金

- ・障害厚生年金、遺族厚生年金の対象
 - ・傷病手当金、出産手当金
- 平均の標準報酬日額の2/3

当日資料抜粋

最後に働き方改革のスケジュー
ル(60時間超の割増率の中小企業
の猶予廃止、残業時間上限規制の
廃止)について紹介され、石川先
生の講演が終了しました。

その後、尾形雄二氏より、在籍
型出向制度について、説明されま
した。

在籍型出向は、労働者の個別的
な同意または就業規則等の社内規
程に基づき行う必要があると説明
されました。具体的にどのような
準備が必要かについて、出向の必
要性や出向期間中の労働条件等
を、出向元企業、出向先企業及び
労働者の三者間でよく話し合った
上で、出向契約の内容や出向期間
中の労働条件等を明確にしておく
ことが必要であると解説されまし
た。その後、助成金の情報や申請
方法等を紹介し、情報提供を終了
しました。

以上で、全日程が終了しました。
不慣れなハイブリット方式での
講習会となりましたが、ご参加
いただきました皆様のご協力のも
と、円滑に運営することができま
した。誠にありがとうございます。

次に、育児休業関係の法改正に
ついては、法改正の内容や現行法
令との違い、企業として具体的
な対応策等を紹介されました。
次いで、労働施策総合推進法に
ついて、「パワハラ」に関する定
義づけや企業が講ずべき措置、相
談者への不利益取扱を禁止する等
の改正点を説明されました。また、
石川氏が実際に相談を受けたハラ
スメントの事例や就業規則の改正
における留意点等も併せて紹介さ
れました。

組合事例(SDGs)紹介 千葉県電気工事工業組合

【組合概要】

所在地：千葉県千葉市中央区道場南
1-9-15
電話：043(224)6086
FAX：043(224)6087
設立：昭和40年10月
理事長：嶋野 貞雄
出資金：60,748,000円
組合員：1,013社
業種：電気工事業

【廃電線リサイクル事業へ参画することによる社会貢献活動】

背景と動機

電線やケーブルの導体として使用されている銅やアルミは有価物であるため、ほぼ100%がリサイクルされるシステムが構築されている。しかし、被覆材が残存している場合はリサイクルすることができず、大部分は産業廃棄物として廃棄される。

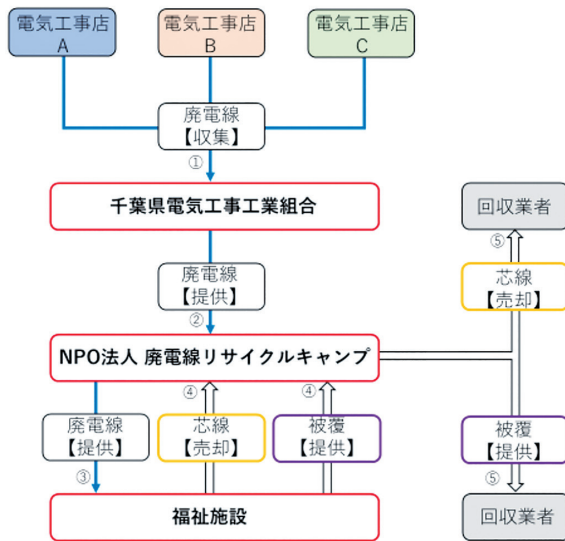
当組合においても、10年以上前から廃電線の利活用は課題として

上がっていたが、組合として当該活動を事業化するにあたっては、廃電線の集積場の確保やリサイクル業者への運搬手段の確保に加え、芯線と被覆材に分けるための経営資源の確保といった課題が浮き彫りとなり、話に進展がなかった。

一方、障がい者を支援する福祉施設では、施設利用者の就労機会の確保に苦慮していた。特に知的障がいを抱える施設利用者はその対応可能業務が単純作業に限定されるため、袋詰め等のスポット作業はあっても継続性が確保できず、障がい者の就労機会の確保に苦戦していた。

そのような時、当組合の役員の一人在り福祉施設の状況を関係筋のNPO法人から聞きつけ、組合として支援できないか問題提起したことで、廃電線の分別作業を

福祉施設の就労内容とする障がい者の就労支援を実現させた。組合として廃電線を収集・提供することで、組合が抱える廃電線の利活用問題と福祉施設が抱える障がい者の継続的な就労機会の確保問題を同時に解決させるにいたった。



成果内容・目標達成

令和3年9月から事業を開始し、各支部長経由で支部内での周知徹底を図るとともに、講習会等の開催通知で企業に直接協力依頼をかける等の活動を継続した結果、令和4年3月までに569kgの廃電線を収集し、NPO法人に提

供できた。更なる資源の有効活用と障がい者への就労機会の提供に貢献するため、組合内の協力企業を増やし、廃電線の収量増加に努める。県のSDGsパートナーに登録した効果も手伝い、組合のSDGsの取り組みが徐々に周知されていることから、令和4年度は収量1tを超える見通しである。

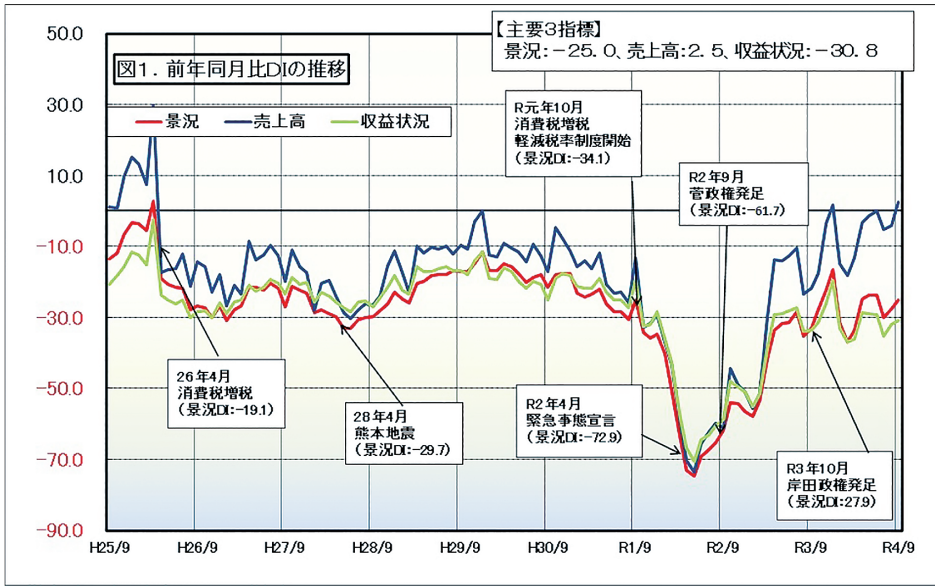
先進的な活動に至ったポイント

- ・廃電線の収量が569kgに達し、令和4年度も令和3年度以上の収量を記録する見通しが立っている。要因は下記の通りである。
- ・理事会で定期的に議題としてあげることによって役員(支部長)の意識醸成を図ったこと。
- ・組合内の取り組みとせず、講習会に参加する組合外部の企業にも協力を呼びかけたこと。
- ・組合のSDGsに係る取り組みとして県のSDGsパートナーに登録し、対外的にPRしたこと。
- ・取り分け役員・事務局に前向きな姿勢の者が多いという点が大きいです。当該役員・事務局の姿勢が組合員に伝播することを期待して今後参加の呼びかけを継続していく。

全国の中小企業動向(令和4年9月末現在の調査結果)
 ～中小企業団体情報連絡員より～

全国の中小企業の景況調査

・感染状況の落ち着き、人流の回復により、景況感は改善傾向にあるものの、電力料金など



エネルギーや原材料価格の高騰、急激な円安の影響により先行き不透明感が続いている。価格転嫁の交渉は、業種によりある程度進展はみられるものの、短期間での相次ぐ仕入れコストの上昇に対応するのが困難との声も多い

・卸売、小売、サービス業等の非製造業を中心に売上が回復するも、収益が追い付かず、収益面の景況感は小幅改善に止まっている。

※DIは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)の略で、好転(増加・上昇)したとする割合から、悪化(減少・低下)したとする割合を差し引いた値です。

以下、主な報告内容抜粋。
【電力等エネルギー価格高騰への対応等】

エネルギーコストが高騰している。特にガス代は前年と比べると3倍近くに上昇している。インキ、塗料他、全ての諸資材の再三にわたる値上げで、収益は悪化している。(東京都/金属印刷業)

【長引くコロナ禍による経営への影響等】

外国人労働者の入国で人手不足は解消されたが、出入国に係る費用がコロナ禍以前よりかなり増加しており負担となっている。また、特定技能人材については引き抜きや勧誘が確認されており対応している。(愛媛県/造船業)

【コロナ禍を契機としたニューノーマル・業態返還(事業再構築)等の取組】

コロナ影響等から業容縮小による合理化・コスト削減の動きが見られる一方で、よらず支援拠点の活用等の公的支援を受けて、卸売業における製造機能付加に関わる取り組みや、商圏の拡大などの市場開拓を図るといった効果的な事

例も見られている。(広島県/総合卸売業)

【インボイス制度に関する事業者の声】

インボイス制度導入に当たり、当組合員企業も順調に登録が進んでいるようであるが、建設業において懸念される問題として、下請事業者が免税事業者である場合には、元請け事業者が消費税を控除できなくなるため、適格請求書等発行事業者になることを選択させ、さもなければ取引をしない(法令違反)、という対応をとる事も懸念される。特に一人親方などは大きな転換期といえる。しかし、慢性的な人手不足のため、二重払いになっても、技術のある職人を使わざるを得ない可能性も大いに考えられる。(香川県/総合建設業)

※全国中小企業団体中央会「9月の中小企業月次景況調査」より抜粋。本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員(中小企業の組合(協同組合、商工組合等)の役員約2,600名に委嘱)による調査結果です。調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況(前年同月比)です。

視察研修及び忘年会

令和4年12月2日(金)に、千葉県中小企業組合士会との合同による「組合・企業視察研修」を開催し、流山市にある「流山工業団地協同組合」及び「GLP ALFALINK(アルファリンク)流山8」を視察しました。

流山工業団地協同組合の視察では、大塚副理事長よりご挨拶をいただき、長橋専務理事より、組合概要、事業内容、これまでのあゆみや組合の抱える課題と対応についてご説明をいただきました。流山工業団地周辺は、物流センターが多く建設され、その結果、渋滞や駐車違反をするトラック等が散見されるようになったそうです。それらをなくす活動として、組合内部だけでなく外部団体との連携も強化することで、課題に対して現在も様々な角度から解決に向けて取り組まれています。まさに、連携組織の在り方や組合内外での連携の必要性について学ぶことができました。その後、団地内を實際に案内していただきながら監視カメラの設置や駐車場管理、無電柱

化等の取組みを説明いただきました。



GLP ALFALINK(アルファリンク)流山8の視察では、物流センター内(占有部分、共有部分)を内藤シニアマネージャーにご案内をいただきながら特徴や実際の活用状況等、説明いただきました。入退場から最先端技術の顔認証を取り入れている他、ワークスペースやリラクゼーションスペース、ストレッチスペース等、物流センター内で業務に従事

している従業員への配慮まで徹底されてきました。また、一般的に物流センターというと閉鎖的なイメージが強いですが、地域住民も利用できる共用部分(カフェテリアや無人売店、シャワールーム等)も充実しており、地域住民のコミュニティの場としても人気があります。視察時も近隣の高校生や住民の方がカフェ・食堂を利用している姿が多く見られました。

視察終了後は、忘年会会場へ移動し、3年振りに忘年会を実施しながら会員同士で有意義な情報交換をすることができました。

事務局からのご案内

事務局責任者協会主催行事

- 「監事会」1月17日(火)
千葉中央駅前ビル3階会議室
- 「役員会」1月17日(火)
ホテルポートプラザちば(仮)
- 「第16回通常総会」2月22日(水)
ホテルポートプラザちば(仮)

来年度の第16回通常総会につきましては、十分な感染症対策を講

じての開催方法を検討しております。詳細が決まり次第、改めてご連絡させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。また、例年同日に実施している、千葉県中小企業団体中央会との共催事業(事務局強化事業・講習会・セミナー)も開催を予定しております。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、昨年までは、コロナ禍により思うように活動できなかった時期が続いておりましたが、本年は会員皆様のご協力のもと、徐々に活動を活発にすることができました。来年度においては、より会員相互の懇親を深めるとともに、有意義な情報提供等ができるよう活動して参りたいと思います。さらに、引き続き、会員増強にも注力していき、ネットワークの強化を図っていきたく思います。

引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

(千葉県中小企業団体事務局責任者協会 稲葉)